

いき活かわら版

北九州市「いきがい活動ステーション」(いきステ)の月刊情報紙

第54号

2022年5月15日

発行
いきがい活動ステーション

3年ぶりの「あじさい祭り」 ボランティアがガイドで活躍

新型コロナウイルスの影響により各地で恒例行事の休止が相次ぐ中、若松を代表するイベント「若松あじさい祭り」も2年間中止になりました。しかし今年は3年ぶりに開催されることに。祭りのルート案内やあじさいガイドのスタッフとして支えてきたボランティアアグルーブの皆さんは、待ちに待った3年ぶりの祭りでの活躍を楽しみにしています。

■アジサイの名所を広めたい

若松区の高塔山は昔から桜やツツジのほか、アジサイの名所としても有名で、地元の人たちが高塔山公園の整備にあわせ多くの種類のアジサイを植栽してきました。6月には



▲満開の頃の高塔山の西洋アジサイ

100種類を超える7万株以上のアジサイが花盛りとなります。この若松が誇るアジサイの名所を全国に伝えようと若松区役所や地元の人たちを協力して1999年、高塔山公園を中心に開催したのが「若松あじさい祭り」です。



▲あじさいウオークガイドのボランティアの皆さん

い祭り」の始まりです。年々祭りに訪れる人も増え、若松を代表するイベントになりました。

■立ち上がった夢追塾の仲間

あじさい祭りがすっかり定着した2009年、ふるさとの活性化に貢献したいと北九州市生涯現役夢追塾の第4期生として入塾した香月英彦さん(79)は、同期の仲間と

NPO「き・ず・な」を結成しました。当初は若松や八幡などの名所を歩いて回るウオーキングイベントを考えていましたが、あじさい祭りの関係者から、祭りのガイドボランティアを求めていることを知り、同じく夢追塾4期生のグルーブ「ほのぼのネットワーク」のほか「夢追塾同窓会若松支部」など夢追塾全体のメンバーにも呼びかけました。

すると多くの人が賛同、一緒に取り組むことになりました。「高塔山あじさいウオーク・ガイド」実行委員会が生まれ、2011年のあじさい祭りからボランティアガイドとしての参加が始まったのです。

■2年のブランクを取り戻そう

実行委員会の仕事は、祭りに来た人たちが安全にアジサイを見て回れるように誘導案内することでしたが、アジサイの種類や特徴などを説明する「あじさいガイド」も必要と気づき、アジサイの勉強会を開き、苗から育てる「あじさい育成地」も手伝うようになりました。

2020年は開始10年目の記念の年でしたが、新型コロナウイルス禍により中止、翌年も2年連続で開催が見送られたのです。約30人の実行委員会の仲間たちには意気消沈の2年間でしたが、今年はコロナ対策実施を条件に開催が決定、久しぶりのガイド活動に張り切っています。

今年はコロナ対策もあって、本来2日間の本祭りが6月12日(日曜日)の一日だけ。その分、プレイベント

というその前の3週の各日曜日に開催される「やまあじさいガイド」にも力を入れる予定です。これは「山あじさい」という日本古来のアジサイを見て回るイベント。普通の西洋アジサイより開花時期が早い品種で、地味ながら風情のある花です。

■あじさいガイド仲間を募集中

十数年前に「北九州のにぎわいづくりのお手伝い」を目的に始まった若松あじさい祭りのガイドボランティア。香月さんたちの活動は、派手ではないけど味わいのあるアジサイと同じように、2年間のブランクを経て地道に花開くことでしょう。

香月さんたちのグルーブは、一緒にガイドをする仲間を募集しています。アジサイが好き、人が好き、北九州が好きならぜひ参加して下さい。問い合わせは香月さんへ(090-8838-9314)。

今年の「あじさいウオークガイド」の概要

【メインイベント】(西洋・やまあじさいガイド)

6月12日(日) 10時~16時

※高塔山頂上の庭園や育成地をウオークして西洋アジサイや山あじさいを案内します

【プレイベント】(やまあじさいガイド)

5月22日(日)、29日(日)、6月5日(日)

いずれも10時~15時

※高塔山あじさい育成地の山あじさいを中心に鉢植えあじさいコンクール展示などを鑑賞するウオークガイドです